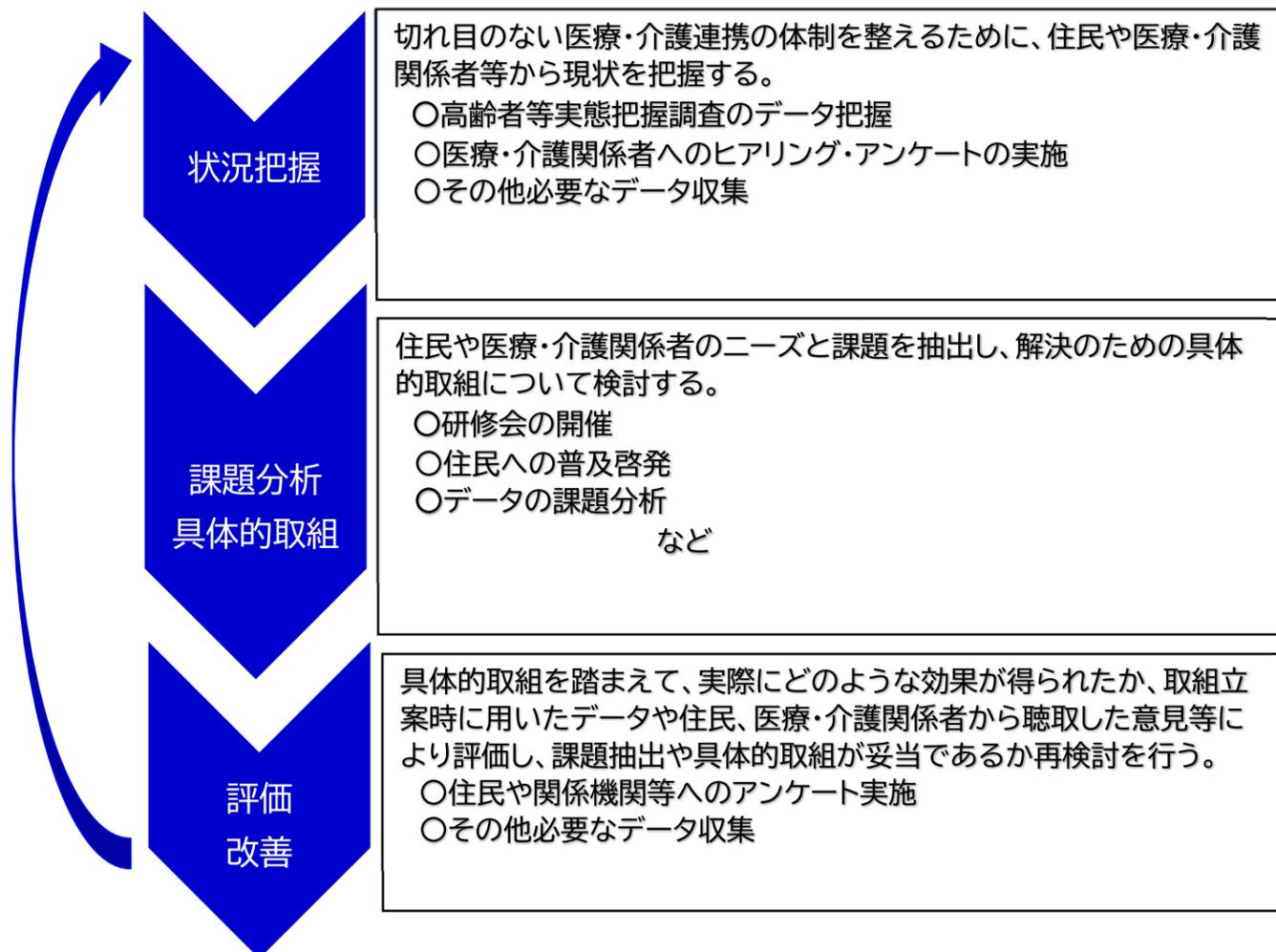


【地域の目指すべき姿(目標)】

**大目標** 本人または家族と医療・介護関係者が、本人の人生の最終段階における意思を共有し、円滑な連携を図ることで、本人が望む場所で最期を迎えることができる。

- 小目標**
- (1) 住民が看取り等について十分に認識・理解し、最終段階における意思を話し合うことができる。
  - (2) 医療・介護関係者が本人及び家族の意思決定を支援できる。
  - (3) 医療・介護関係者等及び本人・家族間で、人生の最終段階における本人の意思に対し、必要な連携を図ることができる。

【実施内容(計画)】



【進捗状況 (計画案)】

- 【令和6年度】 状況把握**
- 「看取り」に関連するデータの把握及び関係機関への調査の実施
- 居宅介護支援事業所:調査票によるアンケートの実施
  - 医療機関:ヒアリングによる調査を実施
- 【令和6年度】課題分析・具体的取組**
- テーマ:在宅を支える医療・介護者連携研修会」の開催
  - ACP人材バンク登録講師による講話を1市3町で5回開催
  - 収集データやアンケート・ヒアリングによる調査結果を考察する (参考資料1・2・3参照)
- 【令和7年度】課題分析・具体的取組・評価・改善**
- 4月～6月 分析・課題抽出
  - 4月～6月 対応策の検討・優先順位の決定、評価・改善
  - 7月～3月 対応策の実施
  - 人材バンク登録医師によるACPIについての講演会
- ※具体的取組を実施後、今後の協議会においてご報告いたします。